

# 原子核三者若手 夏の学校

## 三者若手センター校 北海道大学

提案者：椿原康介

`yonupa-hoihoi@particle.sci.hokudai.ac.jp`

開催場所：パノラマランド 木島平 (長野県)

開催期間：2007年8月20日～25日

# 原子核三者若手夏の学校

- 全国から約300人が参加
  - 所属機関を越えた若手同士の交流
- 初学者向けの講義
  - 分野毎の概観を講師の方々にしていただくことにより、学生の意欲を引き出す
- 学生が自主的に企画・運営
  - 広い意味での研究能力を養う場

若手が将来、研究者として活躍する上で、下準備として重要な位置を占めている

# 2006年度の活動報告

## 2006年度 三者若手 夏の学校

- 開催地：パノラマランド 木島平 (長野)
- 日程：2006年8月5日(土)~10日(木)
- 参加人数：学生270人、講師9人、招待講演者2人
- 研究会発表数：素粒子12人、原子核15人、高エネルギー16人
- 懇親会、スポーツ大会
- 無事終了
- 高エネルギーパートの継続

# 2006年度の授業内容

- 三者共通講義: 「LHCの物理」 萩原 薫氏 (KEK)
- 素粒子パート
  - 「ニュートリノ振動と超新星ニュートリノ」 南方 久和氏 (首都大)
  - 「Introduction to Supersymmetry」 末広 一彦氏 (北海道大)
  - 「位相的弦理論の分配関数と数え上げ」 菅野 浩明氏 (名古屋大)
- 原子核パート
  - 「3体・4体系普遍的計算法の確立とハイパー核物理への応用」  
肥山 詠美子女史 (奈良女子大)
  - 「Nuclear Excitations Probed by Strong, EM and Weak Interactions」  
藤田 佳孝氏 (大阪大)
  - 「高温高密度での格子量子色力学」 江尻 信司氏 (東京大)
- 高エネルギーパート
  - 「ニュートリノの謎とカムランドの挑戦」 白井 淳平氏 (東北大)
  - 「LHCによるTeV領域の新しい物理の開拓」 田中 礼三郎氏 (岡山大)

# 2006年度決算報告

## ● 収入

---

前年度繰越金	1,435,238 円
素粒子論グループからの補助	450,000 円
基研からの補助	500,000 円
参加費 (一人 4,000 円)	1,080,000 円
計	3,465,238 円

---

## ● 支出

---

運営費	236,773 円
講師旅費	100,000 円
発表者旅費	344,300 円
学生旅費補助	1,305,000 円
次年度繰越金	1,480,165 円
計	3,465,238 円

---

# 2007年度の予定

- 日時：2007年8月20日(月)～25日(土)
- 場所：パノラマランド木島平(長野)
- 現在申請されている予算

---

三者センター校	3,000 円
三者事務局	0 円
三者準備校	350,000 円
素粒子論 センター校	23,000 円
原子核 センター校	7,000 円
高エネルギー センター校	5,000 円
計	388,000 円

---

次年度への繰越金(～150万円)、学生への旅費補助(～130万円)と講師旅費(～40万円)を別に含む

# 貴研究所への援助申請

- アンケート から見た一人当りの費用
  - 参加費= 4,000 円
  - 宿泊費+ 食事~20,000 円
  - 交通費~17,000 円
  - 合計~40,000 円( 三者からの補助をもらった上で)
- 補助申請
  - 貴研究所に講師、並びに発表者の旅費補助と印刷代して50万円の援助をお願い致します。